

令和7年春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲受章者及び褒章受章者が発表され、以下の会員が栄に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



桐花大綬章

かん
菅
なお
直
と
人

学歴・職歴

昭和45年 東京工業大学理学部応用物理学科卒業
昭和45年 小田島特許事務所
昭和49年 菅特許事務所
(現在) 平山国際特許事務所

弁理士会歴

昭和47年 弁理士登録(7558)

公職

昭和55年 衆議院議員(14期)
平成22年 内閣総理大臣

懇談会等

賞

平成14年 日本弁理士会永年功労表彰

受章に浴して

このたび桐花大綬章を受章し、弁理士のみなさんから、ご祝意を頂戴いたしました。ありがとうございます。

私の場合、受章されたほかの諸先生方とは異なり、残念ながら弁理士として業績があつての受章ではないため、このような場に一筆寄せることに恐縮しております。

若い頃に読んだオルダス・ハクスリーのSF『すばらしい新世界』で、科学技術の発達が必ずしも人間に幸福をもたらさないことを知ったのが、政治家になった理由のひとつでもあります。科学技術の暴走を防ぐためには、政治によるコントロールが必要です。だからこそ、政治家には科学技術の知識が不可欠です。

残念ながら、日本の政界は理系の大学を卒業した者が少ないため、最先端技術の知識に乏しく、政治は後追いとなりがちです。弁理士の若い方のなかから、政治にチャレンジする人が現れてくれることを期待しています。

たしかに選挙は大変です。私は3回落選し、4度目の挑戦で当選したのですが、実は弁理士試験も3回落ちて、4度目で合格しました。最初の頃は支援してくださる方が少なく、弁理士のみなさんには物心両面どころか、選挙運動そのものでも助けていただきました。先輩弁理士がベンツに乗ってポスター貼りしてくださったことは、私の事務所では「伝説」となっています。

弁理士試験も選挙も諦めないことが成功の最大の秘訣です。難しい弁理士試験に数回で合格した人なら、選挙も大丈夫です。期待しています。



旭日双光章（弁理士業務功労）

よし だ みのる
吉 田 稔

学歴・職歴

昭和 52 年 大阪市立大学工学部 機械工学科卒業
昭和 52 年～昭和 53 年 日本スピンドル製造株式会社 設計部
昭和 55 年～（現在） 共栄国際特許商標事務所（旧樋口国際特許事務所）

弁理士会歴

昭和 55 年 弁理士登録（8638）
平成 4 年度 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 5 年度～平成 6 年度 弁理士会常議員
平成 6 年度 常議員会第一委員会 副委員長
平成 9 年度 特許委員会 副委員長
平成 10 年度 弁理士報酬制度委員会 副委員長
平成 13 年度 総合政策検討委員会 副委員長
平成 16 年度 日本弁理士会副会長
平成 17 年度 日本弁理士会執行補佐役
平成 18 年度～平成 19 年度 総合政策検討委員会 副委員長
平成 19 年度～平成 20 年度 近畿支部 副支部長
平成 20 年度 総合政策検討委員会 委員長
平成 23 年度 近畿支部 倫理・違反者調査委員会 委員長
平成 24 年度 近畿支部 倫理・違反者調査委員会 副委員長
平成 25 年度 近畿支部 倫理・違反者調査委員会 副委員長
平成 26 年度 組織改革特別委員会 副委員長
平成 28 年度 近畿支部 政策委員会 副委員長
平成 28 年度 近畿支部 次年度事業検討委員会 委員長
平成 29 年度～平成 30 年度 近畿支部 支部長
平成 29 年度 近畿支部 次年度事業検討委員会 委員長
平成 31 年度～令和 元 年度 関西会 INPIT 対応特別委員会 副委員長
令和 2 年度～令和 3 年度 日本弁理士会常議員
令和 2 年度 関西会 INPIT 対応委員会 委員長
令和 3 年度 関西会 INPIT 対応委員会 副委員長
令和 4 年度 関西会 INPIT 対応委員会 副委員長
令和 6 年度 日本弁理士会副監事長
令和 7 年度 日本弁理士会監事

公職

平成 11 年度～令和 5 年度 大阪市立大学工学部 非常勤講師（エンジニアのための「知的所有権」）

賞

平成 7 年 弁理士会特別功労表彰
平成 17 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 20 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰
平成 23 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 26 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 30 年 日本弁理士会特別功労表彰
令和 4 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

令和7年春の叙勲受章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。

特許事務所の空気を吸うことなく弁理士となり、資格の大きさと乖離に戸惑いながら、拾っていただいた大阪市内の特許事務所で実務の習得に没頭した20代。

担当した出願に拒絶理由通知や異議申し立てを受け始め、審査官や審判官、相手方とのやり取りが面白くなってきた30代。

少しはクライアントの信頼を得ることができるようになったかな、と思え、弁理士会の委員会や会派の行事に関与し始め、交友関係がグンと広がった40代。

思いかけず弁理士会の副会長を拝命し、役員制度改正や全国支部化を担当させていただいたほか、業務においても猛烈に忙しかった50代。

最後の近畿支部長としてINPIT-KANSAIの開設に協力させていただき、「関西会」への支部名称変更実現に向けて動いたほか、全国の弁理士仲間の支援を得て、趣味のバンド活動がNHKのアマチュアバンドコンテストの全国大会出場を果たした60代。

事務所経営を後進に譲り終え、6回目の年男として現在を生きる70代。

このようにして、次々と出現する人生の扉を開きつつ、健康なまま永らく弁理士生活を送ることができ、その上でこの度の叙勲の栄に浴することができましたのは、日本弁理士会をはじめとする、ご指導ご鞭撻を賜りました多くの皆様のお陰です。心より感謝を申し上げます。

偉そうなことを申すことをお許しいただき、自戒の念を込めて、これからの若い会員各位にお伝えしたいことがあるとするならば、「弁理士」を名乗る限り、すべからく、「理（ことわり）を辨（わきまえ）た士（さむらい）」として、国民の負託に応えるべく与えられた資格であることを今一度心に留め、高い矜持をもって、業務はもちろん、遊びにも、そして会務にも励んでいただきたい、ということです。

今しばらく、後進の成長と活躍を見守りつつ、弁理士業界にお役に立つことができればと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



旭日双光章（弁理士業務功労）

かね もと てつ お
金 本 哲 男

学歴・職歴

昭和 57 年 早稲田大学法学部卒業
昭和 57 年～平成 4 年 藤沢特許事務所勤務
平成 3 年 東京理科大学工学部Ⅱ部 電気工学科卒業
平成 4 年 現曙国際特許事務所開設
（現在）曙国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 63 年 弁理士登録（9638）
平成 5 年度～平成 6 年度 特許制度昂揚普及委員会 副委員長
平成 7 年度 広報委員会 副委員長
平成 10 年度～平成 11 年度 弁理士会常議員
平成 10 年度 常議員会第二委員会 副委員長
平成 11 年度 常議員会第一委員会 副委員長
平成 17 年度 選挙管理委員会 副委員長
平成 19 年度 研修所 副所長
平成 20 年度 日本弁理士会執行理事
平成 21 年度～平成 26 年度 研修所 副所長
平成 27 年度 経営基盤強化委員会 委員長
平成 27 年度 次年度会務検討委員会 副委員長
平成 27 年度 次年度人事検討委員会 副委員長
平成 28 年度 日本弁理士会副会長
平成 29 年度 例規委員会 委員長
平成 30 年度～令和 元年 例規委員会 副委員長
平成 31 年度（令和元年度）処分前公表審議委員会 委員長
令和 4 年度 弁理士推薦委員会 委員長
令和 4 年度～令和 5 年度 日本弁理士会常議員
令和 5 年度 常議員会 副議長
令和 5 年度 総合企画政策委員会 副委員長

公職

平成 29 年 産業構造審議会専門委員

懇談会等

平成 9 年 日本弁理士会と特許懇との懇談会 副委員長
平成 15 年 日本弁理士会と特許懇との懇談会 委員長
平成 16 年 日本弁理士会と特許懇との懇談会 委員

賞

平成 12 年 弁理士会特別功労表彰
平成 21 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰
平成 27 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 27 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 29 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 30 年 日本弁理士会感謝状
令和 元年 弁理士制度 120 周年記念式典特別功労者表彰
令和 2 年 日本弁理士会特別功労表彰
令和 6 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

令和7年春の叙勲の榮に浴し、身に余る光榮に存じています。これも偏に周りの方々に支えられたお蔭であり、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、大学入学時に初めて親類縁者が全くいない東京に出て暮らし始めました。当時はもとより弁理士という資格も知りませんでしたが、大学3年時に上級生とペアを組んだ工業所有権のゼミを通じて、この世界を知りました。その後当該上級生の方に誘われて入部した大学の工業所有権のサークルで縁を得て、卒業後はサークルOBの方の事務所に就職し、やがて資格を得て独立開業して今日に至っています。

途中、弁理士試験に幾度か失敗したこともあり、この際退職して違う世界に進もうと事務所の先生にお話したところ、「君ほど弁理士に向いている人はいない。」などと諭されて、ここまでやってきました。（その後、当職よりも遥かに弁理士に向いている人をしばしば見かけましたが…。）

事務所を開設したのがバブル崩壊直後だったので当初は大そう苦戦しましたが、やがて知遇を頼りに少しずつ仕事が増えました。そして弁理士登録後に会務活動を始めてからも、よき先輩、よき後輩の方々に恵まれました。そのことが今回の受章につながったものと思います。

このようにこれまで多くの方に支えられてきましたが、そのことを忘れず、今後は当職がこれまで得た知見、経験を活かして、微力ではありますが、知的財産の分野で貢献したいと存じます。



瑞宝重光章（元知財高裁所長）

し みず みさお
清 水 節

学歴・職歴

昭和 52 年 東京大学法学部卒業
昭和 54 年 司法研修所終了
昭和 54 年 横浜地方裁判所
昭和 57 年 徳島地方・家庭裁判所
昭和 60 年 東京家庭裁判所
平成 元 年 東京国税不服審判所
平成 4 年 津地方・家庭裁判所 四日市支部
平成 8 年 東京高等裁判所（知的財産権部）
平成 12 年 那覇地方・家庭裁判所（部総括）
平成 15 年 東京高等裁判所（知的財産権部）
平成 16 年 東京地方裁判所（知的財産権部・部総括）
平成 22 年 知的財産高等裁判所
平成 23 年 徳島地方・家庭裁判所長
平成 25 年 知的財産高等裁判所（部総括）
平成 29 年 知的財産高等裁判所長
平成 30 年 定年退官
平成 30 年 弁護士登録（第二東京弁護士会）
平成 30 年～現在 日本弁護士連合会知的財産センター 幹事
平成 30 年～令和 5 年 早稲田大学大学院法務研究科 非常勤講師
平成 31 年～現在 日本知的財産仲裁センター JP ドメイン名紛争処理 パネリスト
平成 31 年～令和 4 年 慶応義塾大学大学院法務研究科（法科大学院）客員教授
令和 元 年～現在 東京地方裁判所 民事調停委員
令和 3 年～現在 経済産業省 工業所有権審議会 委員
令和 4 年～現在 第二東京弁護士会 司法制度調査会 委員
（現在） 柳田国際法律事務所

弁理士会歴

平成 30 年 弁理士登録（21627）
令和 5 年～現在 登録審査会 委員
令和 7 年～現在 弁理士推薦委員会 委員

受章に浴して

今回、はからずも瑞宝重光賞を受賞することができました。このような場で紹介頂くことを心からお礼申し上げます。

裁判官として 40 年、弁理士・弁護士として 7 年、法律実務家として大過なく日々を送ることができたのは、ひとえに皆様方のご支援、ご指導のおかげと思っています。

特に、後半の 20 年近くは、東京高等裁判所の知的財産専門部及びそれが発展した知的財産高等裁判所で数多くの審決取消訴訟や控訴審を担当し、また、東京地方裁判所の知的財産専門部である民事 29 部で裁判長として知的財産権に関わる侵害訴訟などを処理してまいりましたが、毎日、裁判所で仕事を楽しく元気に行うことができたのは、代理人等を務められた弁理士の先生方のご協力の賜物です。

今後は、知的財産の分野を中心に多少なりとも周りの方たちのお役に立つよう尽力するとともに、この分野を専攻する若手実務家の育成に携わっていきたいと考えております。



瑞宝中綬章（経済産業行政事務功労）

こ いけ ゆう ぞう
小 池 勇 三

学歴・職歴

昭和 51 年 京都大学工学部卒業
昭和 51 年 通商産業省特許庁入庁
昭和 55 年 特許庁審査官（事務機器・自然資源・都市基盤）
昭和 56 年 通商産業省貿易局総務課
昭和 59 年 国際協力銀行
平成 4 年 特許庁審判官（金属加工・建築・土木）
平成 6 年 情報検索室長
平成 9 年 上席総括審査官（計測）
平成 11 年 情報管理課長
平成 12 年 国際課長
平成 14 年 上席審査長（応用光学・光デバイス）
平成 15 年 審判課長
平成 16 年 首席審査長（計測・ナノ物理）
平成 17 年 経済産業省特許庁審査第 1 部長
平成 19 年 経済産業省特許庁退職
（現在） 山川国際特許事務所

弁理士会歴

平成 19 年 弁理士登録（15300）

受章に浴して

令和 7 年春の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。経済産業省、特許庁、日本弁理士会をはじめとする関係者の皆様に心から感謝申し上げます。経済産業省特許庁在職中は自然資源、光学、計測、金属加工等の審査審判業務に従事致しました。同時に特許に関する国際交渉に参加する機会もいただきました。そうした経験を活かし、経済産業省特許庁退職後は、弁理士登録をし、山川国際特許事務所に職を得、知財制度の実務に携わって参りました。現在は山川国際特許事務所外国からの出願に関する業務を主に担当しています。限られたことしかできておりませんが、特許に係わる仕事を続けられていることに感謝しております。



瑞宝中綬章（経済産業行政事務功労）

みなみ
南

こう いち
孝 一

学歴・職歴

昭和 52 年 名古屋工業大学生産機械工学科卒業
昭和 52 年 特許庁入庁
昭和 56 年 審査第三部審査官（一般機械）
平成 58 年 総務部総務課企画調査室
平成 元年 総務部秘書課
平成 4 年 審査第二部調整課
平成 6 年 審査第二部調整課審査企画官
平成 8 年 総務部電子計算機業務課機械化企画室長
平成 11 年 財団法人日本特許情報機構事業管理室長
平成 13 年 総務部特許情報課特許情報利用推進室長
平成 14 年 総務部技術調査課長
平成 16 年 審査第一部調整課長
平成 18 年 審査第二部長
平成 20 年 特許技監
平成 23 年 特許庁退官
（現在） 一般社団法人日本国際知的財産保護協会

弁理士会歴

平成 23 年 弁理士登録（17860）

公職

平成 25 年～令和 7 年 産業構造審議会知的財産分科会臨時委員（弁理士制度小委員会）
平成 26 年～令和 6 年 工業所有権審議会委員（弁理士審査分科会試験部会長）

受章に浴して

令和 7 年春の叙勲の栄に浴し身に余る光栄に存じます。特許庁、日本弁理士会をはじめ、関係の皆様のご指導、ご鞭撻のお陰であり、深く感謝申し上げます。

まず、特許庁に入ることとなった馴れ初めですが、実ははじめは研究職を目指し、採用面接初日は科学技術庁や工業技術院の面接を受けたのですが、周りはドクターばかりで諦め、2 日目に教授から先輩が多くいると聞いていた特許庁の面接を受けました。すると面接官から、君の試験の順位ではどこも採用してくれないから特許庁に入りなさい、と説得され、最終的に特許庁に入庁した次第です。

在職中は、審査審判業務以外に様々な業務を経験させて頂きました。総務課では工業所有権制度 100 周年記念事業として 10 大発明家レリーフ、秘書課では日米構造協議を受けた特許庁独自の I 種採用試験、審査審判経験退職者の再採用、審査調査員制度の創設、調整課では特許庁独自の海外留学制度の創設、電子計算機業務課では特許電子図書館の創設、技術調査課では総務課や本省知的財産室と協力して知的財産戦略大綱、知的財産戦略会議、知的財産基本法等の立上げ、職務発明制度の改正、調整課長以降は FA11 達成に向けた審査処理計画の推進、特許技監時代は加えて知財制度の国際調和、特に PPH の拡大など、実に様々な政策に参画ができたことは大きな財産です。これも偏に、どの局面においても優秀な部下や同僚、関係者に恵まれ支えられた結果であり、心より感謝しています。

また、特許庁退職後も、弁理士制度小委員会委員や試験部会長を務め、弁理士制度の健全な運営に貢献することができたのではないかと考えています。

今後は、これまでの経験を活かしつつ、一弁理士として精進していく所存です。引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



瑞宝小綬章（経済産業行政事務功労）

よし みず じゅん こ
吉 水 純 子

学歴・職歴

昭和 52 年 東京大学理学部生物化学科 卒業
昭和 52 年 特許庁入庁（審査第五部電子物理）
昭和 56 年 審査第五部審査官（半導体機器）
平成 6 年 審判部第 20 部門（半導体機器）審判官
平成 7 年 審査部第四部審査官（金属電気化学）
平成 10 年 審査第四部主任審査官（化学工学）
平成 12 年 審査第四部電気化学技術担当室長
平成 14 年 審判部第 19 部門（金属電気化学）上席審判官
平成 18 年 審判部第 19 部門審判長
平成 21 年 審判部第 19 部門部門長
平成 25 年 審判部第 17 部門（無機化学）部門長
平成 26 年 特許庁退官
（現在） 京橋知財事務所

弁理士会歴

平成 26 年 弁理士登録（19969）

受章に浴して

この度は、受章という栄誉に浴し、今までお世話になってきた特許庁の諸先輩方、同僚の皆様、現職場のメンバー、そして弁理士会の皆様に感謝の言葉もございません。

振り返りますと、学卒の身で男女雇用均等法の無い時代、就職活動中、父と同じ年代の方々に、ご自分の娘さんの身に置き換えて同情していただき、でも、採用しません、といわれ続けたあげく、幸運にもたどり着いたのが特許庁です。

それまでは、知財という概念を知らず、研究・学問は個人的な楽しみであった私にとって、産業の発展のための知財制度、という概念は大変新鮮なものでした。

専門の生物化学とは異なる分野でしたが、半導体、金属、電池、化学工学、無機化学という様々な分野の仕事をさせていただき、「読書百遍意自ずから通ず」を目指し（もちろん達成には到りませんでした）、知らない領域に触れることができましたことは、得難い財産となっております。

特許庁では主に権利化前の事案に対して経験を積んでまいりましたが、無効、鑑定等の権利化後の事案についても携わらせていただきました。現職場でも、お客様のニーズに応え、権利化業務はもちろんのこと、権利化後の保守、活かし方についても、微力を尽くしたいと考えております。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

褒章受章者の横顔



黄綬褒章（弁理士業務功労）

お ぎ たか ひろ
尾 崎 隆 弘

学歴・職歴

昭和 51 年 静岡大学工学部化学工学科卒業
平成 7 年 名古屋工業大学二部電気情報工学科卒業
昭和 58 年～平成 4 年 足立国際特許事務所（現名古屋国際弁理士法人）
平成 4 年～平成 6 年 柴田法律特許事務所
（現在） 尾崎特許事務所（所長）

弁理士会歴

平成 4 年 弁理士登録（10320）
平成 11 年度 情報企画委員会 副委員長
平成 18 年度 東海支部 総務委員会 副委員長
平成 19 年度 東海支部 幹事
平成 20 年度 東海支部 知的財産権制度推進委員会 副委員長
平成 22 年度 東海支部 副支部長
平成 23 年度 東海支部 監査役
平成 23 年度～平成 24 年度 国際活動センター 副センター長
平成 24 年度～平成 25 年度 日本弁理士会常議員
平成 25 年度 東海支部 副支部長
平成 26 年度 東海支部 支部長
平成 26 年度 地域企画調整委員会 副委員長
平成 29 年度 東海支部 東三河地区委員会 委員長
平成 30 年度 東海支部 監査役
令和 5 年度 綱紀委員会 副委員長

公職

平成 24 年度～平成 25 年度 工業所有権審議会試験委員

賞

平成 18 年 蒲郡商工会議所創立 60 周年感謝状
平成 25 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 26 年 日本弁理士会感謝状
平成 26 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 29 年 日本弁理士会東海支部特別功労表彰
平成 30 年 知的財産権制度関係功労者表彰（特許庁長官表彰）
令和 元年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

この度、黄綬褒章授賞の榮譽に浴することができ、特許庁、日本弁理士会をはじめとする皆様のご支援のお陰と深く感謝申し上げます。ご縁があり足立勉先生に外国出願を中心に知財実務を、柴田肇先生に専門家の心構えを学び、ここでの経験が弁理士の基礎となりました。豊橋で独立した後、故郷蒲郡で、良きご縁に恵まれて、責任が重いだけにやりがいも大きい業務に携わって参りました。本会では国際活動、東海支部では組織改編や公的機関・他士業との連携、愛知県、蒲郡市、地元大学では地域貢献に取り組むなど、国内外で活動を行って参りました。お世話になっている南甲弁理士クラブの先輩弁理士からの教えを忘れずに、いまままで通りの活動を継続する所存です。